



3月の園だより

学校法人志賀学園
認定こども園
平第一幼稚園
令和8年2月27日

春寒の候、保護者の皆様には日頃よりこども園に対し、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。今年度も残すところ残りわずかとなってきました。

先日のドリームコンサートでは、それぞれの育ちにあった素敵な演奏を子どもたちが大好きな保護者の皆様にお届けすることができました。そして、何といても最上学年でもあるさくら組さんの大合奏！始まりに緊張する場面もありましたが見事に素晴らしい演奏ができたことを嬉しく、そして子どもたちの立派な姿にとっても感動をもらったコンサートでした。

その中でも緊張の中で体調が悪くなってしまい、始まる直前に少し時間をもらった際に、誰一人として「まだー？」、「早くやろうよ」など発することもなく、ただお友だちを心配そうに気遣う姿に「思いやりの心が養われているんだな」と思わず関心してしまいました。

お休みの日を除くと修了式まで残り「12日」、卒園式までは残り「13日」と数字で見るととても短く感じる日々となりました。年度の終わりの3月。子どもたちにとって「楽しかった」が印象に残るよう修了・卒園まで気持ちに寄り添いながらもやってみたいがたくさんの保育を行っていきたいと思います。

さて、先日さくら組の子どもたちとひな人形をホールに飾りました。

昨年、「おはなしたまてばこ」という絵本の読み聞かせや手遊びなどを行っているボランティア団体の方から立派なひな人形を寄贈していただきました。寄贈者の吉田さんと一緒に、今までは職員で飾りつけをしていましたが、子どもたちと1つ1つの人形に触れながら意味合いや飾る場所、順番などを伝え、楽しく経験することができました。

活動の最後には「てぶくろ」のお話もしていただき、楽しい時間を過ごすことができました。3月6日（金）にも再度に来園していただき、学年ごとにエプロンシアターや読み聞かせを楽しく「おはなし会」を開いてくださいます。

【ひな人形を飾るのはいつ？】

本来、ひな人形を飾り付けるのは、雨水（うすい）の日に飾るのが最適だと言われています。雨水は、二十四節気の1つで、雪が雨に変わり、春に向かっていく節目の時期を指します。2026年の雨水は2月19日から3月4日までです。この時期は、山に積もった雪が溶け出し、田畑を潤すことから、農耕の準備を始める目安とされてきました。

雨水に、ひな人形を飾ると良縁に恵まれるという言い伝えがあります。これは、雪解け水が川に流れ、草木が芽吹くように、良い縁が芽吹くという考えに基づいています。水は命の源とされ、水の神様が子宝や安産の神様として崇められていることも関係しています。

こういった行事そのものだけでなく、飾るもの1つ1つにも大切な意味合いが込められています。私たち大人がこのことを次の世代である子どもたちにきちんと伝え、継承していくことも日本の大切な文化の1つなので、みんなで大切にしていきたいと思います。

